



平成30年11月14日

中部地方整備局

四日市港湾事務所

「四日市・いなばポートライン」で物流がスムーズに ～ 所要時間の短縮・定時性の確保により物流効率が向上 ～

1.概要

伊勢湾岸自動車道みえ川越 IC 付近から四日市港霞ヶ浦地区を結ぶ「四日市・いなばポートライン」（延長約 4.1km）が平成 30 年 4 月 1 日（日）に開通し半年が経過しました。開通後の物流効率化等の効果をお知らせします。

■港湾物流における所要時間の短縮・定時性の確保による効率化

四日市・いなばポートラインを利用することで、みえ川越 IC からコンテナターミナルまでの距離及び所要時間が短縮しました。

○所要時間（みえ川越 IC～霞ヶ浦北ふ頭コンテナターミナル）

国道 23 号経由（約 6.7km）：約 14 分

四日市・いなばポートライン経由（約 5.5km）：約 7 分 約 7 分短縮

※所要時間調査：平成 30 年 10 月 31 日（水）7 時～19 時（1 路線当り 24 回計測）
上り・下りの平均時間

○道路利用者の声

- ・開通後は、霞ヶ浦地区からスムーズに出られるようになった。（物流事業者）
- ・開通後、みえ川越 IC の接続がスムーズになったため、霞ヶ浦地区～名古屋方面の所要時間が 10～15 分短縮でき、輸送効率が上がった。（物流事業者）
- ・四日市・いなばポートラインは、渋滞や信号待ちも無いので到着時間が読みやすく仕事の組立がやりやすくなった。（物流事業者）

■災害時の信頼性（代替機能）の確保

四日市・いなばポートラインの開通により、霞ヶ浦地区と背後地とを結ぶ経路が複数になりました。

○道路利用者の声

- ・今まで霞ヶ浦地区は、出島で霞大橋 1 本しか結ばれていなかったが、もう 1 本道路ができたことにより、防災面で安心できるようになった。（立地企業）

■その他の効果

労働環境改善の効果がみられました。

○道路利用者の声

- ・朝、夕の渋滞がないため、通勤が楽になった。（通勤者）



2.配布資料

資料1：「四日市・いなばポートライン」開通後の効果について

資料2：「四日市・いなばポートライン」の概要

■配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、三重県政記者クラブ、
四日市市政記者クラブ、四日市港湾記者クラブ、津市政記者クラブ、
港湾新聞社、港湾空港タイムス、日本海事新聞社、海事プレス、
マリタイムデーリーニュース

■問い合わせ先

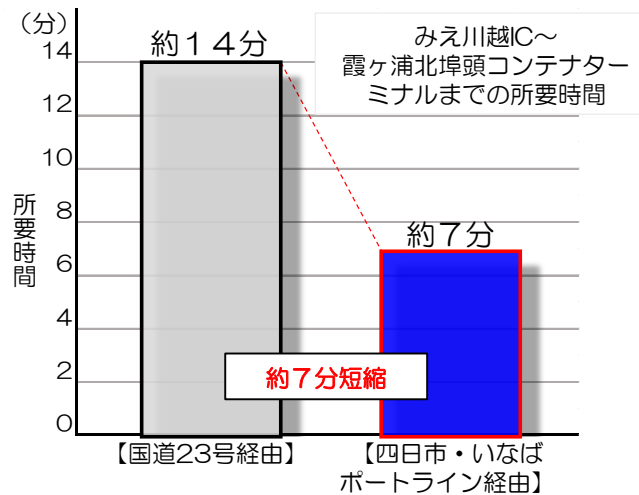
国土交通省 中部地方整備局 四日市港湾事務所
副所長 野口（のぐち）、企画調整課 課長 竹内（たけうち）
TEL：059-359-0510

■ 港湾物流における所要時間の短縮・定時性の確保による効率化

- ・ 信号交差点が少ない「四日市・いなばポートライン」を利用することで「伊勢湾岸自動車道みえ川越IC」～「霞ヶ浦北埠頭コンテナターミナル」までの所要時間が短縮しました。

所要時間 国道23号経由：約14分 ⇒ 四日市・いなばポートライン経由 約7分 約7分短縮 所要時間
※所要時間調査：平成30年10月31日（水）7時～19時：1路線当り24回計測
国道23号経由：7時台2回、8時台2回、11時台2回、15時台2回、17時台2回、18時台2回）
四日市・いなばポートライン経由：7時台2回、8時台2回、11時台2回、15時台2回、17時台2回、18時台2回）
上り・下りの平均時間

約5割短縮！



【四日市・いなばポートライン】

■ 道路利用者の声〔物流関係者・通勤者〕

- ・ 開通後は、霞ヶ浦地区からスムーズに出られるようになった。
- ・ 今まで霞ヶ浦地区は、出島で霞大橋1本しか結ばれていなかったが、もう1本道路ができたことにより、防災面で安心できるようになった。
- ・ 開通後、みえ川越ICの接続がスムーズになったため、霞ヶ浦地区～名古屋方面の所要時間が10～15分短縮でき、輸送効率があがった。
- ・ 四日市・いなばポートラインは、渋滞や信号待ちも無いので到着時間が読め、仕事の組立がしやすくなった。
- ・ 朝、夕の渋滞がないため、通勤が楽になった。



◆「四日市・いなばポートライン」の概要

四日市・いなばポートラインは、港湾物流機能の効率化、周辺道路への負荷の低減及び災害時の信頼性の確保（代替機能）を目的として、整備が進められ平成30年4月1日に開通しました。

■道路諸元

- 名称 臨港道路 霞4号幹線
- 愛称 「四日市・いなばポートライン」
- 区間 霞ヶ浦地区南ふ頭～都市計画道路 川越中央線
- 延長 約4.1km
- 規格 第3種2級相当（片側1車線）設計速度50km/h

